

## ○福井市水産業振興プラン(素案)の概要

### 1 策定の趣旨

本市の林業・水産業分野の上位計画として平成28年2月に策定した「福井市林業・水産業プラン」の計画期間（平成28年度～令和2年度）が、今年度終了することから、現行プランの取組による成果と課題を整理し、国や県の動向を踏まえ、今後5年間の林業・水産業の活性化を図るため本プランを策定する。

現行プランでは林業・水産業を併記したプランとなっていたが、それぞれの分野の専門性を高め、県の計画との連携を図るため個別のプランに分け策定する。

### 2 計画期間

令和3年度から令和7年度(5年間)

### 3 基本理念及び基本方針

#### 基本理念：「活力ある水産業の再生！稼げる産業への転換」

本市の水産業は、新鮮な水産物を安定的に供給することにより、市民の暮らしを支えている。

これからも地域経済や市民生活を支える重要な産業として持続的・安定的に発展させるため

には、沿岸海域の自然環境とその恵みである水産資源を守り、収益性の高い漁業に取組む。

また、次世代を担う人材の確保や育成、地産地消や魚食普及等の認知度向上による販売力強化、魅力発信による漁村地域の活性化等、稼げる産業への転換を目指す。

基本方針	基本方針実現のための施策
<b>(1) 水産資源の維持と漁業所得の向上</b> 漁業の生産性を高めるため、直接放流や中間育成放流等の栽培漁業を推進する。また、中間育成施設や漁港の未利用水域を活用した新たな手法による養殖やICT等を活用した計画的かつ効率的な漁業を推進する。	栽培漁業の推進 中間育成施設や漁港の未利用水域を活用した養殖の展開 スマート水産業の推進
<b>(2) 担い手の確保と受入体制の整備</b> 次世代を担う担い手の確保・育成を図るとともに、漁業の核となる漁業協同組合の経営安定化を支援する。また、長寿命化計画に基づき、老朽化した漁港施設を計画的に改修し、漁業者が安心・安全に漁業活動が行える環境を整備する。	担い手の確保・育成 漁業経営の基盤強化 安全で利用しやすい漁港施設の整備
<b>(3) 地魚と漁村の魅力発信</b> 漁業者による活締めや神経抜き等の付加価値向上に向けた取組を推進するとともに、特色ある水産加工品の開発や販路開拓を支援する。また、北陸新幹線の開業を見据え、地域団体等と連携した漁業体験イベントを行い、漁村の魅力向上を図る。	地魚の消費拡大と付加価値向上 特色ある水産加工品の創出と販売促進 観光との連携による漁村地域の活性化

### 4 新たな重点取組

基本方針	主な取組
<b>(1) 水産資源の維持と漁業所得の向上</b>	・漁業者等が取組むサクラマスの「ふくい型養殖」やアカモクの養殖、漁港の未利用エリアを活用したイワガキ養殖研究を支援 ・定置網漁業経営体が取組むIoTやICT等の情報通信技術の導入の支援
<b>(2) 担い手の確保と受入体制の整備</b>	・都市圏で開催される漁業就業者フェアに漁協、受入船主とともに出展 ・国の補助事業等を活用し、適切な更新計画に基づいた水産施設や漁船機器等の更新を支援
<b>(3) 地魚と漁村の魅力発信</b>	・市のECサイトを活用し、漁業者等が製造する水産加工品の販売を支援 ・直売会や水産イベント、定置網体験漁業などの活動や漁村地域の魅力をSNS等で積極的に情報発信し誘客促進

### 5 数値目標

基本方針	指標	単位	前プラン目標	前プラン実績	R7目標
水産資源の維持と漁業所得の向上	放流魚種数(年間)	種	2	3	4
	養殖魚種数(年間)	種		3	4
	スマート水産業の導入経営体数(累計)	経営体		0	2
担い手の確保と受入体制の整備	新規就業者数(累計)	人	5	9	7 <sup>1</sup>
	漁船機器等の更新件数(累計)	件		7	7
	漁港施設の改修箇所数(累計)	箇所		2	5
地魚と漁村の魅力発信	学校での地魚活用件数(累計)	件		0	10
	水産加工品の開発品目数(累計)	品目		0	3
	ECサイトによる水産加工品販売額(年間)	千円		0	2,000
	漁業体験活動回数(累計)	回		6	20

注：前プラン実績の表記について：(年間)と記載がある指標は、令和2年度見込み

：(累計)と記載がある指標は、平成28年度から令和2年度までの累計

1: 就業者の世代交代等を想定し、定置網漁業5人、底曳網漁業1人、小規模漁業1人とする。

福井市水産業振興プラン(素案)の基本方針実現のための施策(プラン体系図)

基本理念	目指す姿	基本方針	基本方針実現のための施策	取り組み			
				項目	主な内容		
活力ある水産業の再生―稼げる産業への転換	収益性の高い漁業の実現	水産資源の維持と漁業所得の向上	栽培漁業の推進	ア) 効果的な放流事業の展開、放流魚種の見直し イ) 河川・海岸清掃や海底耕うんによる漁場環境改善	・ ヒラメ、アワビ、マダイ、キジハタ等漁業者の要望に応じた放流事業を推進 ・ 嶺北地域栽培漁業推進協議会が所有する中間育成施設の運用方法を協議会の中で検討 ・ 魚介類の生息環境を改善するための海底耕うんを支援 ・ 漁場環境の保全や景観の美化につながる海岸や河川の清掃活動を支援		
			中間育成施設や漁港の未利用水域を活用した養殖の展開	ア) 陸上養殖と港内静穏域での海上養殖を複合させた「ふくい型養殖」の推進 イ) 中間育成施設を活用した閉鎖循環式陸上養殖の研究	新 漁業者等が取組むサクラマスの「ふくい型養殖」やアカモクの養殖、イワガキ養殖研究を支援 新 「閉鎖循環式養殖」手法を利用したバフンウニ養殖の支援		
			スマート水産業の推進	ア) 漁業者を対象としたスマート水産業に関する勉強会の開催 イ) IoT、ICT等を活用した計画的な漁業の実現	新 漁業者を対象としたスマート水産業に関する勉強会の開催 新 定置網漁業経営体が取組むIoTやICT等の情報通信技術の導入の支援		
			人材の確保と漁業経営の安定	担い手の確保と受入体制の整備	担い手の確保・育成	ア) 漁業就業支援フェアに漁協、受入船主とともに出席 イ) 就業後の奨励金給付と水産カレッジ研修費用の助成	・ 都市圏で開催される漁業就業支援フェアに漁協、受入船主とともに出席 ・ 福井市の漁業に関心があり、漁業体験を希望する方に対しての交通費や宿泊費を支援 ・ 定住を促進するため、新規就業者に対し奨励金を給付 ・ 漁業に必要な知識や技能を習得する「ふくい水産カレッジ」の研修費用を助成
					漁業経営の基盤強化	ア) 預託金による漁業協同組合の経営安定化 イ) 更新計画に基づく水産施設等の更新や漁船機器等の導入	・ 預託金の無利子貸付による漁協経営の安定化 ・ 国の補助事業等を活用し、適切な更新計画に基づいた水産施設や漁船機器等の更新を支援
					安全で利用しやすい漁港施設の整備	ア) 老朽化した漁港施設の計画的な改修 イ) 漁港の統合や漁港機能の集約化の検討	・ 定期点検等を実施し、機能の低下した漁港施設の修繕を計画的に実施 新 漁獲量や漁船数に応じた漁港の統合や漁港機能の集約化を検討
	販売力強化と漁村の活性化	地魚と漁村の魅力発信	地魚の消費拡大と付加価値向上	ア) 徹底した活締め、神経抜きなど鮮度保持による付加価値の向上 イ) 地魚流通の見直し、「近海今朝とれ市」の活用による消費拡大 ウ) 鮮魚直売会の開催、学校給食や家庭科での地魚活用	・ 活締めや神経抜き等の鮮度保持の付加価値化を施した鮮魚のPRや鮮度保持に資する機器導入等の支援 ・ 中央卸売市場と連携し、「近海今朝とれ市」の取組を積極的にPRし、地魚の消費を拡大 新 学校給食や家庭科での地魚活用を推進		
			特色ある水産加工品の創出と販売促進	ア) ミズダコの特産化 イ) オリジナル料理、加工食品の開発 ウ) ECサイトを活用した水産加工品の販売促進	・ 希少価値があり、地元産の高鮮度・高品質などのPRポイントを活かし、高値で取引できる客先への販促活動を展開 新 福井産の未利用・低利用魚、未利用海藻等を活用した新たなオリジナル水産加工品開発を支援 新 市のECサイトを活用し、漁業者グループ等が製造する水産加工品の販売を支援		
			観光との連携による漁村地域の活性化	ア) 北陸新幹線福井開業を見据えた誘客 イ) 地域を盛り上げる市民活動団体と連携した漁業体験活動の促進	新 直売会や水産イベント、定置網体験漁業などの活動や漁村地域の魅力をSNS等で積極的に情報発信し誘客促進 新 越前海岸盛り上げ隊や地域おこし協力隊等と連携し、漁業体験活動や漁村交流を支援		